

「ことば育ては、からだ育てから」ということを聞いたことはありますか？



ことばを直接つかさどるのは大脳です。でもそれ以外にもからだの動き、こころの働きに関する脳があって、全部関係してはじめて、ことばになります。

このことをわかりやすく説明しているのが、右の図の「ことばのビル」です。

「ことばを話す力」はビルの最上階。ビルを建てるには、しっかり基礎（土台）を固めることが大切ですよね。いろいろな要素ができて、その積み重ねの上にことばが育っていくことが、このビルを見るとよくわかります。最上階のことばだけが発達するということはありません。

土台となる「からだ作り」「こころ育て」がとても大切になります。

**「ビルが小さくても、工事がゆっくりでも、その子なりのペースを大切に。」**

毎日の暮らしの中で“よく寝て、よく食べ、よく遊ぶ”。そして、お子さんが今、かけてもらいたい言葉を想像して声をかける（気持ちの代弁、言語化など）。

当たり前のことだけど、簡単じゃないですよ。

毎日状況は変わるし、誰にだって、気持ちと時間に余裕がない時はあるものです。

そんなときは（そんなときじゃなくても）ゆっくり息抜きがてら、ふれあいにお茶しにきて下さい♪

引用：中川信子著「こどものこころとことばの育ち」

図3



こんなこと、ありませんか？

- ・公共機関に相談に行くほどではないけれど、ちょっと子育て相談できると嬉しいな😊
- ・ママ友との話は楽しいけど、「心配しすぎだよ～」等で終わってしまい、モヤモヤが解決しない。
- ・こういうとき、他のおうちはどうしてるの？（なかなか寝ない、なかなか食べないなど）



言語聴覚士（ST）て？

話す、聞く、食べるを含めたコミュニケーションを一緒に考える、理学療法士・作業療法士と並ぶ専門職の1つです。医療・福祉・教育機関など幅広い分野で活動しています。その中でもお子さんを対象とする言語聴覚士は少数派で全体の1割と言われています。ふれあいでは、ちょっとした疑問でも気軽に話せるような、お子さんの成長と一緒に見守り、寄り添う、身近な存在でありたいと思います。

